

人生100年時代の高齢者（生き方・支え方）

高齢者向けの人材派遣会社を東京ガスのO.Bで設立

— 村関さんが代表取締役社長を務める株式会社高齢社は、主に高齢者を対象とした人材派遣会社ですが、詳細を教えてください。

村関 当社に登録しているのは六十五歳以上がほとんどで、原則、定年はありません。登録者の平均年齢は七十一・二歳で、最年長は八十四歳です。二〇二三年六月現在で約千人の登録があり、その中の三百九十人程度が就労中、そのほかは待機中となっています。

— 御社は、東京ガスの子会社の社長を務められた上田研二氏によって、二〇〇〇年に設立されたそうですね。どのよくなきつかけで立ち上げたのでしょうか。

村関 東京ガスには、当時も現在も、新築マンションなどが完成した際に実施するガス機器の点検業務や、入居者にガス機器の使い方を説明する内覧会業務があります。その作業の実施日は通常、土・日曜日に集中するため、現場に就ける人員が不足しているという状況がありました。しかも、土・日曜日で作業を行なう場合、正社員を休日出勤扱いにしなければいけません。

— 村関さんが代表取締役社長を務める株式会社高齢社は、主に高齢者を対象とした人材派遣会社ですが、詳細を教えてください。

村関 当社に登録しているのは六十五歳以上がほとんどで、原則、定年はありません。登録者の平均年齢は七十一・二歳で、最年長は八十四歳です。二〇二三年六月現在で約千人の登録があり、その中の三百九十人程度が就労中、そのほかは待機中となっています。

— 御社は、東京ガスの子会社の社長を務められた上田研二氏によって、二〇〇〇年に設立されたそうですね。どのよくなきつかけで立ち上げたのでしょうか。

村関 東京ガスには、当時も現在も、新築マンションなどが完成した際に実施するガス機器の点検業務や、入居者にガス機器の使い方を説明する内覧会業務があります。その作業の実施日は通常、土・日曜日に集中するため、現場に就ける人員が不足しているという状況がありました。しかも、土・日曜日で作業を行なう場合、正社員を休日出勤扱いにしなければいけません。

— 「高齢」が入っているわけですね。

村関 一時の思い付きのようですが、上田には、もともと超高齢社会を見越した高齢者ビジネスのアイデアがありました。

— いうのも、今から三十年ほど前に政治家橋本龍太郎氏の講演を聞いた際、「これから超高齢社会、労働力の減少を補うために女性、外国人、ロボット、高齢者を積極的に活用すべきだ」という意見に共感。高齢者向け事業のニーズが高まる 것을予見していました。そうした素地もあり、創業に結び付いたのだと思います。

— ガス関連以外には、どのような業務があるのでしょうか。

村関 マンションやビル、施設の管理、受付業務などが主です。朝早くからの仕事でも可能な高齢者の強みを生かし、早朝出勤があるゴルフ場のコース管理やレンタカー会社

の受付などの業務も多いです。珍しいものには、「横乗り業務」と呼ばれる運転補助の仕事があります。これは、家電メーカーの作業員が現場での業務中に駐車違反を出さないように、助手席で待つ仕事です。

充実した人生のために働き仕事を通じて元気になる

— 創業以来、登録者は右肩上がりで増え続けているそうですね。

村関 それだけアクティヴな高齢者が多くなつたということだと思います。総務省のデータによると、七十年代の死亡率は年々下がり、気持ちや体が衰えない高齢者が増え続けています。そうした背景も、登録者数の増加を後押ししていると思います。

— 実際に当社でも、知力や体力がまだあります。働きたいから働いている人が大多数です。現役時代は生活費のために働いていた人も、年金と賃金を併用することでゆとりが生まれ、充実した人生を送るために働けるようになります。

— 例えば、東京ガス本社内のコンビニエンスストアで働く七十年代の女性は、年金のほかに週四日働いて十五万円程度を稼ぎ、趣味の社



村関不三夫

株式会社高齢社代表取締役社長

1956年千葉県生まれ。東京大学法学院卒業。1985年に米ジョンズ・ホプキンズ大学高等国際問題研究大学院修了。1979年に東京ガス株式会社に入社後、ニューヨーク事務所長や執行役員リビング企画部長、エネルギーソリューション本部長、取締役常務執行役員などを歴任。2016年東京ガスリキッドホールディングス社代表取締役社長、2018年株式会社ガスタンク取締役会長。2021年4月より現職。



「働くから元気になる」が活力に社会と接し必要とされることが活力に

人生百年時代における高齢者の生き方や周囲の支え方について、各界の専門家に話を伺います。今回は、生涯現役で働く場を広げようと、主に六十五歳以上の高齢者を対象とした人材派遣会社・株式会社高齢社で代表取締役社長を務める村関不三夫氏です。

人生100年時代の高齢者（生き方・支え方）



「人本主義」はセンターにも当てはまる

確かに、長いキャリアで積み重ねてきた経験は貴重ですが、それにばかり執着していると、担当できる仕事の範囲を狭めてしまうことにつながりかねません。ですから、皆さんには第一の定年をめどに、今までの仕事の業

績や経験をいつたん忘れるをお勧めしています。その上で、新しい業種に踏み出してみると、そのような「新しいことをしてみよう」というチャレンジを応援したいですし、そうしたことが生きがいにつながるのではないかと考えています。

当社でも、現役時代とは違う

キャリアを選ぶ登録者はたくさんいます。横乗り業務をしていける男性は、元はメーカーの海外法人の副社長でした。また、レンタカー会社には、かつて航空会社のフライトエンジニアだった人も働いています。皆さん、最初は慣れないとしても、そのうち仕事の楽しさややりがいを発見し、いきいきと働いています。そのような柔軟さも、高齢期には必要な気がします。

今後、高齢者の就労事業に対する社会的ニーズはさらに高まっていくと思います。大手の人材派遣会社も昨今、高齢者枠の開拓に力を入れ始めています。また、社会保障費を抑えたいという国の現状からは、働く元気な高齢者を増やすことが求められているともいえます。ですから、高齢者が働きやすい環境を広げていく意味でも、シルバー人材センターとは何か連携できることがあるのかもしれません。事業のさらなる発展を願っています。

——高齢者の就労支援という面では、シルバー人材センターも同じ業種です。センターのある

取材／山辺健史
撮影／原 貴彦

べき姿とは、どのようなことだとお考えですか。

村関 人材派遣業としては、やはり人を大事にしなければいけないと思います。人が資産であり、売りはそれしかない。だからこそ、その人を信頼し、派遣先に自信を持つ送り出せるような関係性を築いていくことが重要です。創業者の上田は、「資本主義ではなく、働く人を大事にする『人本主義』であるべきだ」とよく言っていました。こうした考え方には、シルバー人材センターにも当てはまるのではないかでしょうか。

——村関さんは今まで、長く働き続ける多くの人と接してきたと思いますが、高齢期に大切なのはどのような心構えだと思われますか。村関 重要なと感じるのは、過去の経験や得意分野にこだわりすぎないことです。

——登録者に元気な高齢者が多いとはいえ、健康面の不安や家族の介護など、不測の事態が起る可能性は高いと思います。そうしたリスクはどのように捉えていますか。

村関 まずは、日ごろから皆さんの情報をしっかりと把握することが大切だと考えています。具体的には、少なくとも一年に一回はアンケートを実施し、「就労状況」や「健康状態」などを細かくリサーチしています。そのことで、それぞれの環境の変化に早めに対応できるようにしています。

また、当社では、一つの求人を複数人で分け合うワークシェアリングを推進しています。これは、派遣先から求められた仕事の日数や時間数を複数の人数で回すことで、一人一人の体力的・精神的な負担を軽くする働き方です。こうした形態ならば、急なけがや病気、やむを得ない事情が発生してもほかのシフトの人があなたが代替できますし、高齢でも自分の都合を優

——皆さん、とても自由で能動的ですね。

村関 よくお話するのが、「元気だから働く」のではなく、「働くから元気になる」ということ。働くて社会と接し、誰から必要とされることは、活力の源になると考えます。そのことは、私自身も実感しています。

実は、昨年まで就いていた株式会社がスター（給湯器製造メーカー）の会員職ではあまりディレクターがありませんでした。しかし、当社に移つてみると、スタッフが少ないこともあり、アンケートの作成や登録者のメールアドレスの集計など、自分で全てやらなければいけませんでした。でも、いざ行ってみると、非常にやりがいがある（笑）。実際に手

ワークシェアリングで無理のない働き方を推進

交ダンスのレッスン代や孫のおもちゃ代に充てていると言います。「体調が許す範囲で働き、生活を少し豊かにしたい」というのがモチベーションだそうです。

また、卓球が趣味でマスターズの試合に出ているという人は、コーチ代を稼ぐために働くっています。

——登録者に元気な高齢者が多いとはいえ、健康面の不安や家族の介護など、不測の事態が起る可能性は高いと思います。そうしたリスクはどのように捉えていますか。

村関 まずは、日ごろから皆さんの情報をしっかりと把握することが大切だと考えています。具体的には、少なくとも一年に一回はアンケートを実施し、「就労状況」や「健康状態」などを細かくリサーチしています。そのことで、それぞれの環境の変化に早めに対応できるようにしています。

また、当社では、一つの求人を複数人で分け合うワークシェアリングを推進しています。これは、派遣先から求められた仕事の日数や時間数を複数の人数で回すことで、一人一人の体力的・精神的な負担を軽くする働き方です。こうした形態ならば、急なけがや病気、やむを得ない事情が発生してもほかのシフトの人があなたが代替できますし、高齢でも自分の都合を優



ガス業界をはじめ、幅広い業種・職種で高い実績を達成している株式会社高齢社。写真は、派遣先の東京ガスライフルで働く、高齢社の派遣社員。主に、倉庫管理・ガス機器の商品の荷受け業務を担当している